

川中地区まちづくり集会（H25.9.21開催）

川中地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月21日（土）10:30～12:00

◎場 所 川中公民館

◎出席団体数 13団体

川中地区まちづくり協議会、綾羅木地区自治連合会、川中小学校PTA、川中中学校PTA、垢田中学校PTA、川中連合婦人会、綾羅木地区連合婦人会、下関市老人クラブ綾羅木支部寿老会、熊野地区スポーツ振興会、川中地区民生児童委員協議会、綾羅木地区社会福祉協議会、川中地区保健推進委員会、川中消防分団

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三
川中支所支所長：中野志彦

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10:30～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10:35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11:00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12:00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

川中地区まちづくり集会（H25.9.21 開催）

【開催の様子】

9月21日に開催した川中地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から13名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、川中地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

川中地区まちづくり集会の中で、参加者どうしで話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

川中地区まちづくり集会

9月21日

地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
環境 河川清掃への参加者の減少とコスモス祭り予算減少		祭りの仕組み見直し 先進地に学ぶ自治会の設置(地域と市の協力)	市への予算要求
安心・安全 街路灯の無い通学路(新緑野)		PTA(父親)の積極的な参加・促進 地域住民同士で声掛け	地域の防犯を考えた街路灯の設置(地域で強く要望)
まちづくり 自治会の新たな設置 自治会加入率の低下(若者の増加)	自治会長をはじめ個人もまちづくりを考える	住民の帰属意識向上に向けた取り組み・地域の運動会開催など	マンション入居者等への自治会加入促進 自治会設置への支援
市施策 人工島の活用(地域意見の反映) 道路整備と渋滞緩和策			(教育) 学校とPTA双方の意見交換及び電子媒体を活用したネットワークの構築
地域の自然 綾羅木海岸の整備			(その他) 電子媒体を活用した若者意見の集約

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

綾羅木地区の自治連合会長をしております。今、市から説明がありましたように、会議をやるのに司会進行をお願いしたいということでございまして、私、不慣れではございませぬけれども、もしご異論が無ければこの12時までの1時間ほど、司会進行をさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

それでは、次第の4の地域の現状と将来を見据えた課題について、その中の括弧1、地域課題についてということでございませぬけれども、これは先ほどの説明にもございましたように、分野ごとで要約整理できれば良いのですが、今日が初めてでありますし、どういうまちづくりがどうなるのか、これからのことが皆目よく分かりませんので、とにかく地域の問題を皆さんから、何でもいいですから挙げていただくというやり方で、課題をとにかく何でも挙げていただければと思っておりますが、よろしゅうございませぬでしょうか。

【市】

頂いた課題はコンパクトに打ち込んで、こちらのスクリーンに出していきます。

【市民】

今日、初めて参加しましたが、川中地区まちづくり協議会の会長をしておりますので、今の川中地区の現状を少しお話ししたいと思っております。

ここに参加されている方は全員、まちづくり協議会の会員でございませぬのでご理解いただけたと思っておりますが、川中地区では熊野、豊町、垢田、綾羅木、川中の5自治連合会からなり、人口は33,033人を有する下関地区では一番大きな地域になっています。

私達のまちづくり協議会では、川中地区にあります綾羅木川を拠点に、地域の皆様にお願ひして、川の兩岸の草刈りとコスモスの植え付けで、地域の活性化をしようと頑張っており、その成果は10月の第1土曜日、今年は第2土曜日となりますがコスモス祭りを開催しています。

これには川中支所が事務局になってもらっていますが、その中で色々と課題が出てきております。

その1つに、作業に携わる方の高齢化があります。各自治会が中心となって草刈りやコスモスの苗の植え付けを行うのも、今年で24年目を迎えますが、この先、どうなるのかなという状況です。

また、コスモスの苗の植え付けに係る経費は、市からの助成金のほか、5自治連合会からも助成金を頂いてなんとか運営しています。また、コスモス祭りは地元の金融機関からも2万円をご寄附頂いて賄っていますが、財政的にも大変苦しい状況であり、これからどうしたら良いかなと考えているところです。

その辺の課題もございませぬので、皆様方に色々とご意見を頂いて、これを続けるべきか止めるべきか私も悩んでいますので、そういう問題があるということをご認識いただければと思っております。

川中地区では、まちづくりを過去24年間やってきましたが、参加される地区も今は偏

っていて、川中に集中していますので、垢田や綾羅木、熊野、豊町にお住まいの方々には余り影響は無いと思いますが、まちづくり組織の中で活動しているという実情がございますので、せっかくの機会ですから、こういう問題について、この先も続けるべきか、それとも止めた方が良いのか、皆さん方のご意見をお聞かせ願えればと思っております。

【司会】

今、川中地区まちづくり協議会の会長からご意見がございましたが、その他、何でも良いので課題を挙げて頂きたいと思いますが、どなたかありませんか。

【市民】

これは学校教育の関連かもしれませんが、先ほど出た新椋野の関係です。

今の時期は、まだ日が高いので良いですが、新椋野から川中中学校や熊野小学校に通学される子どもがいます。

新椋野から熊野方面に下りる道の両脇が斜面になっていることを、皆さんもお気づきかと思えます。

新椋野には自治会が存在していませんが、今、我々が盛んに訴えているのが街路灯の設置についてです。恐らく夕方になるとあの道は真っ暗になります。新椋野側に下りる道には2～3箇所、街路灯があるのは確認していますが、熊野方面に下りる道には外灯が全く無いということで、今、豊町連合会長、熊野連合会長、熊野小学校PTAと校長らを交えた話し合いの中での問題点として挙がっています。

恐らく陳情していくこととは思いますが、どうしたら良いかを市にも相談しています。

これを早くやっていただかないと、今は子ども達も小さいですから、なかなか中学校まで声が上がっていませんが、小さいお子さんが夕方5時ごろ小学校から帰るときに真っ暗な道を歩いて帰らなければいけないという現状だと思えます。早く新椋野に自治会を作って、ご協力をお願いできればなと思えます。

【司会】

今、熊野から問題が出ましたが、他にも色々と課題を挙げて頂きたいと思えます。

【市民】

川中地区連合婦人会の会長をしています。

市から説明のあった「地域の現状と課題」のところで、自治会への加入率低下というのがありました。

これについて考えると、まちづくりの一番の基本は皆さんが一緒になって活性化することだと思いますが、先ほどのご意見の中でも自治会に入っていない方が多いとのことでした。しかし、本当に自治会に加入しないままで済むのかどうか、若者も一体となったまちづくりが必要ではないかと思えます。

現在、川中地域は若い方の住む住宅が増えていますが、様々な人が交流すること、地域の中で若い人を育成をしていかないと活性化していかないのではないかと思えます。

私たち年配者に比べ、若い人達の発想はすごくあると思うので、そういう意味において、やはりマンションとか若い者で住宅を建てられる方にも是非、自治会に加入していただき、一緒に地域を活性化させるためのまちづくりをやっていければと思えます。

【司会】

ありがとうございました。大きな問題で、どこの自治会も大変ではないかと思います。

【市民】

川中の老人会の副会長やっています。

まちづくりというのは大きな枠と小さい枠とがあると思いますが、私は10年くらい前に、下関は災害が少なく、非常に良い町だと感じ、何とかこの町に一生住んでみたいなあと思ってここに引っ越してきました。そういうことを色々と考えながら下関の町全体を見渡して見ると、こういうものが足りないとか、こういうことをもっとすべきではないかと個人的に思うことが多々あります。

まず一つは、人工島のことについてですね。せっかくあのような島を作ったにもかかわらず、いまだに人工島を活用していない現状を見て、一市民として非常に不本意に思っております。あの島をどの様に扱うかということは、当初作る時点で決められていたとは思いますが、実際に作った後になって不都合な点がいっぱい出てきたので、結局、活用していないということが多々あります。

下関は坂の多い街ですから、道路を作るにも色々な問題があると思います。つい最近、武久にJRを渡る高架ができましたが、あれが出来る前は、人工島側から線路の向こう側へ渡る道が一本しか無くとても大変だったんですが、あれが出来るととても便利になったと思ったら、あの道は幡生方面には行けるが、反対側の丸山方面に行く道が無く、結局、使えないということでした。なぜ幡生方面だけにしか行けない高架を作ったのかなといった疑問があります。予算などの問題もあるとは思いますが、せっかく作るのなら、やっぱり半永久的に使えるような形にして頂きたいと思っています。

それと、間もなく川中地区に新椋野方面から国道191号に通じる道路が完成予定であり、佐々木動物病院の所で国道191号と交差します。

国道191号は、北バイパスが完成するまでは非常に交通渋滞が激しいので、そこに一つ道が入ってくると更に渋滞が加速化されるのではないかと危惧しております。

やはり、国道191号との交差は高架橋にし、人工島に繋げるべきではと思います。

そういった計画は市でも色々やられているようですが、なにか全てが中途半端な計画と感ずますし、色々な面で私は不満に思っております。こういったことについて、皆さん方と一緒に何とかが良い方向にしていけるよう、市がせっかく作るのなら、我々のまちづくりの将来を考えながら作っていただければと思います。

【司会】

ありがとうございました。

【市民】

垢田中学校PTAの副会長をしています。今のご意見に付け足して発言したいと思いません。

新下関から稗田に抜ける道は、将来、人工島に繋がる計画なのですが、まだ県がやるか市がやるか決まっていなくて、その辺を早急にやって欲しいと思えますし、私は綾羅木南町に住んでいるので、すぐ側をあの道が通る事になります。

川中地区まちづくり集会（H25.9.21 開催）

それについては地区の皆で相談して、こういう風にして欲しいといった希望を是非出したいと思いますので、市もそういう意見を是非反映して欲しいと思っています。

あともう一つ、私、今日は綾羅木海岸の事を発言しようと思って参加しました。

今、バイパスを作っているの、その周辺も殺伐としていますが、昔の下関の写真なんかを見ると、実に良い海岸で、かつては下関の財産であったと思います。

海水浴場としては土井ヶ浜などができたので、ちょっと寂れたかなとは思いますが、あの海岸は、また瀬戸内側とは違った魅力があると思いますので、是非、工事が完了したらきれいに整備して、それこそ遊歩道といいますか散歩していて気持ちのいい海岸を、是非、整備して欲しいなと思いますし。国土交通省の計画でも、綾羅木海岸は北バイパスのパーキングエリアのような駐車場になる予定だと聞いておりますし、北バイパスはノンストップでいくみたいですが、途中で一ヶ所駐車場ができる予定なので、その駐車場、パーキングの周りには潤いを持たせ、ちょっと良い雰囲気にして欲しいと思います。

【司会】

ありがとうございました。まだ沢山の意見があると思いますけれど、とりあえず本日のレジメによりますと「課題解決や活性化などについて」というのもあり、その次に「総括」があります。

終わりの12時までと決まっております、残り30分となりましたので、「課題解決や活性化」に移って、そちらで皆さんからのご意見を伺いたいと思います。

このまちづくりの集会は、市の説明によると今後もどんどんやられるということでございます。住民が集会を作れば、市の方に意見が反映されるということでございますから、そういうことをひっくるめて全ての課題を挙げていくと、とても時間が足りませんので「課題解決と活性化」についてご意見を伺いたいと思いますがよろしいか。

【司会】

それでは、私から手を挙げるのも何ですが、先ほどから色々熊野の方のご意見を聞きますと、川中地区は広く、非常に人口も多いです。だから今日は、川中地区まちづくり集会では一つになっておりますけれども、もちろん一つになる組織も必要かもしれませんけれども、川中地区に関してはもう少し細分化した方が良いのではないかと、豊町とか熊野の問題はそういった原因もある訳ですね。

それから、綾羅木、それから川中も、先ほどの市の説明では中学校区で一つくらいで考えたいという話だったのですが、そうすると垢田中学校と川中中学校がそれぞれあって、熊野は川中中学校になりますが、その辺がありますので、川中として一括りにした方が良いのかどうか、その辺りも少し皆さんに考えて貰えたらと私の意見として思っております。

【市】

ここまでで、一応、課題が出ましたので、この課題を上から順にやられても結構ですし、どこからでも結構ですが、これについて環境では今、河川清掃の参加者減少、或いはコスモス祭りの予算が無いという意見がありました。これについて解決策、あるいは活性化というふうの一つずつ検討して頂けると助かります。

【司会】

川中地区まちづくり集会（H25.9.21 開催）

ということでございますので、その中から解決しやすい部分がありましたら、順番でなくても結構ですのご意見をお願いします。

コスモス祭り、河川整備ですが、河川清掃への参加者の減少とコスモス祭りの予算の減少。これについて皆さんのご意見を一つでも二つでも頂ければと思います。

【市民】

それは簡単じゃないですか。市に予算を減らすなど言えば、それしかない。

【司会】

司会者としてでは無く発言させて頂くと、綾羅木地区では、コスモス祭りはそろそろ見直したほうが良いのではないかという意見もあります。自治会で奉仕される方も60代ではなくて、70～80代になってきています。

自治会長以外は、婦人会は別にしても、その他からはほとんど参加者がいませんので、高齢者ばかりになると作業も危険になってきます。コスモス祭りも今までやってきたので協力してはいますが、市が補助金を減額する中で、そろそろ見直しの時期ではないか。

【市民】

司会者がそうやって言ったらだめでしょ。

【市民】

それを解決するのが、まちづくりの新たな自治会の設置とか、自治会の加入率の低下、若い者の力を借りて活性化するという方向に持っていくべきだと思います。

【司会】

その通りで、それが言いたかったのです。

【市民】

だから、環境と言っても河川事業であって、草が伸びるから地域の方で刈るといったことが一番の目的であって、コスモス祭りは河川課から補助金が貰えるので、今まで進めていると思います。

それから、今、そこに出られる方が高齢化しているが、若者は見向きもしない現状をどう解決するのかというと、まちづくりで新たにできた町、新しい自治会の活用だと思います。新しい自治会を作るように仕向けるのが私たち地域住民の仕事であり、また市の仕事であるので、そこから活性化しないと全然進んでこないと思います。

【市民】

これは、今ある基礎の自治会との協力関係が是非とも必要になってくる事業じゃないか思いますし、川中支所長の力も大いに関係してくると思います。

【市民】

先ほど発言のあった伊倉新町には自治会がありません。私達もいつになったら自治会が出来るのかと思っていますが、現時点では、マンションばかりなんですよ。

マンションの中には、管理組合などがあると思いますが、市にも時々相談に行って、自治会を置くように言って貰えないかをお願いしていますが、市側から自治会を作ってくれというのは言いにくいということです。実は、10月10～11日に四国の高松と高知に自治連合会の研修で行く予定となっていますが、四国の高松では市と宅地建物取引業協会

が協定を結んで、建設業界の組織と市が提携しながら自治会の立ち上げに取り組んでおり、宅建組合にお願いをして、マンションならマンション経営者が必ず自治会づくりのための体制を作っているということです。そういう風に色々な方法を考えてやらないと、自治会管理は難しいかなと思います。金銭的な問題だけではなく、組織もなかなかできませんよね。

【市民】

豊町連合会があるでしょ。これは積水ハウスによって、きれいなサンディスク熊野という自治会が一つ出来ているんですけど。これはやっぱり積水ハウスの方々が中心になって作った自治会なんです。

やっぱり新椋野も、売るからには自治会を作ってくれと、どこかでそういう手を打たないと、こういうわれ関せずの住民がここに入ってきて、好き勝手なことをされる、よそのゴミステーションにゴミを捨てていく、自治会の回覧は回らない、当然。

それで、熊野もそうなんですけど、やっぱりそれを正していく、安心・安全な所にも街路灯ってあるんですけど、市の計画で向こうの方には交通量が多いから、街路灯を2～3箇所つける。車が多い少ないといった理由、ただそれだけのことらしいです。

けど今は、小学校は熊野に来る住民が出てきて、そうしたら両脇が山、そこを削ったところに道を作った訳ですから、街路灯も全く無い。

横断歩道を渡ったら、真っ暗闇の世界を、小学1年生が歩いて帰るというのを想像してください。事故が起きてからではもう遅いのです。

ちょっと明るい今、安いLEDなんか、設置にちょっとお金かかりますけど、電気代は安いと。それくらいの防犯灯っていいましたけど、今、街路灯という言葉になってきたみたいですが、やっぱり、道を作った以上はそういうのが必要じゃないかなと思います。

一日も早く、市で街路灯の設置に向けた努力をして頂きたいなと思います。

【司会】

他に何かご意見は。

【市民】

今、自治会の問題ですけれども、私達の地区では、自治会長さんが、転入者として管理者に入ってきた時点で、管理費として自治会費を貰う形で未加入を防ぐようにしてありますが、当然、市にもお願いしたいのですが、アパートでも何でも建築を許可する訳ですから、住民として入るときには入居費の他に管理料も要るのでしょうか、一緒に自治会費をお願いする、強制は難しいとは思いますが、お願いする形でやっていけば個別に集める必要もないので集め易いのではないかと思います。今、マンションに住んでいる方とは、ほとんど繋がりが無いので、入居をする、許可をする時点で下関ではこういう方法だと入居予定者に説明すれば、加入率は上がるのではないかと思います。

【市民】

先ほどから新椋野、新椋野と敵のような言われ方ですが、新椋野には市営住宅があるので、市営住宅の住民が自治会を作って、管理者に自治会長になって貰うのが一番ありがたいことだし、こういったところで会議をしなくても自治会長が集まる場があれば、良い

まちづくりができるのではないかと思います。

【司会】

どれでも結構ですので、時間まで皆さんのご意見を出して頂きたいと思います。

どこの自治会も同じだと思いますが、PTAもお母さん方は出て来られますが、お父さん方は仕事が忙しくなかなか出てもらえません。お父さん方にも出てもらえると助かるなと我々はいつも思っているのですが、それについての意見を頂けないでしょうか。

【市民】

川中小学校のPTA会長をしています。小学校のPTA活動も自治会と同じように、なかなか保護者の皆さん方のPTA活動へのご参加が少ないというのが現状です。

とは言いながら、保護者と学校と地域が連携を取らないと、なかなか地域の活性化は進んでいかないと考えています。

今年度から学校でもコミュニティ・スクールという協議会が作られました。開かれた学校づくりということで学校と保護者、地域の方と一緒に開かれた学校づくりを目指しているということで、先ほど自治連合会長も言われたように、例えばコスモス祭りなど、そういうところに私たち保護者も積極的に参加して、草刈り作業などを通じて地域の方と触れ合うことが大事かと思っています。

私も、毎朝コスモス街道を自転車で通勤していきまして、自治連合会長が朝早くから草刈りをされているのを毎年見ているのですが、保護者の皆さんもうまくお手伝いができるような流れを作っていかなければいけないと私自身、反省をしているところですので、積極的に地域の活動に保護者が参加していくということが大事なかなと思っています。

【市民】

川中中学校のPTA会長をしています。先ほど、自治連合会長からも発言がありましたが、中学校でもご多分に漏れずなかなか保護者のPTAへの参加、特に父親の参加というのは非常に少なく、7～8割は女性の参加ということで非常に限られている訳です。

そういった中で、この場に校長先生は参加されておりませんが、校長先生がいつもおっしゃっているのは、保護者もそうなんですけど中学生、小学生と違って、中学生は部活に入っているんで、地域でそういった体験とか活動があったら、声をかけて頂きたいということで、中学校の部活単位でできることであれば協力しようという話を随時されております。

ここで、川中自治連合会の会長も中学校のコミュニティ・スクールの一員でございますし、随時そういう話はさせていただいています。

あと、先ほど熊野の外灯の件がございましたが、私の個人的認識からすれば、あれだけ立派な道ができ、人通りも多くなり、交通量も増える中で、最初から外灯が無いというのはびっくりしまして、実は来週の木曜日に熊野にPTA関係者が集まって、その件についての話し合いがあります。中学校から私も参加して欲しいと言われていましたので、昨日ちょっと夜中に道を走ってみたのですが、確かに真っ暗でちょっとびっくりしました。

私の自宅は熊野とは反対側の有富一の宮線沿いにあるのですが、ちょうどあの道ができただけ頃にも色々そういう話も聞いていたのですが、この道にあまりにも外灯が無いということにびっくりしました。先ほどの解決策として市に外灯を作って欲しいと学校側から要

望等していくことにはなりますが、是非早い段階での整備をお願いしたいと思います。普通に考えれば、あのような道に外灯がないのはおかしい訳ですから、これは是非ともやっていただきたい。以上でございます。

【司会】

皆さん、せっかくお忙しい時間を割いて集まって頂いていますので、まだご発言されていない方、一つどれでも課題でなくても結構でございますので、ご意見ありましたらお願いいたします。

【市民】

川中地区民生児童委員をしています。本日の参加者名簿を見させていただきますと、川中には5自治連合会ある訳ですが、全員が来られている訳ではない。多分お忙しい会長さんもいらっしゃると思うのですが、私が頂いた資料の中では、代表団体のみということだったと思います。これから先こういう会議を開いていくのであれば、もし会長さんが出席できないというのであれば、代理の方を出して頂かないといけないではないかと思えます。

【市民】

本日は消防団で参加しています。消防団は別として、個人的な意見で言わせていただくと、やはりまちづくりの一番基礎となるのは自治会だと思います。自治会をしっかりするというのであれば、行政からもまず自治会への強制加入というか、入っておられない方についてはゴミステーション等の事も考えて、行政から自治会の立ち上げや自治会に入っただけでよう要請することが必要ではないかと思えます。

次に、共に行う、助け合う、地域での共助ですけれども、私が感じていることですが、大体、地域の皆さん方、私も若い部類に入るかどうか分かりませんが、帰属意識が薄いと感ずます。

地域に途中から入って来られる方、ここに数年前から越してこられた方は、昔からここに住んでいる方達に比べて、ここに骨をうずめるとかそういった帰属意識を持つ人自体が少ないのではないかとといった意味です。

それに対する成果ですね、個人の自由ですけども、例えばコスモス祭りについての話が出ましたが、コスモス祭りに参加して、成果として花がこれだけきれいになったという、そういった成果をあんまり得られていない。また、小・中学校のボランティアを先生方が一所懸命に推進してきたということでボランティア部とまではいかないまでも、そういった活動がされています。

学校側としても、やはり地域に協力できるボランティア活動を何かと模索している状況であると思えますし、学校の登校下校の危険性というところでは、逆に先生方も地域の方々にちょっと立って頂くだけでも防犯意識が高まる。

そうやってお互いに助け合う心を育てているのではないかと思えますので、帰属意識の改革の一つとして、私は綾羅木地区に住んでもう20年近くになりますが、勝山地区の出身です。

勝山では5自治連合会で地域の運動会を開催しています。この地区でやるのは難しいかもしれませんが、そうやって皆さんが帰属意識を持って、我々の地区が勝ったとか負けた

とか。昔、川中西小学校でも玉入れゲームを地区対抗ですると、お父さん、お母さん、お爺ちゃん、お婆ちゃん達が必死になって自分の地区のためにと頑張っていました。そういった取り組みを通じて帰属意識を強めていくといった解決策も、一つの提案としてあるんじゃないかなと思います。

【市民】

保健推進委員会で参加しています。私達は住民の方々の健康の推進といいますか、命を守るということに重点を置いてやっております。これはお年寄りが段々多くなってきた状況においては、よりあなたの近くに行きたくて色々しますよといった事を打ち出さなければ、大きな川中地区で、ここの公民館だけで色々な行事を催したのではやはり参加者が限られてしまうということで、いわゆる出前事業を沢山組み込めるように考えていております。

けれども、これも場所の借上料であるとか講師に対する謝礼であるとか、色々な事に費用が伴うという事実がありますので、なるべく健康診断とかそういった病気に対する注意事項に対する話であるとか、ちょっと広めて防災に対する話であるとか、広めていくために努力して参りますので、自治会の皆様にはより良い自治会をこしらえて頂きたいなという願いばかりでございます。

【市民】

綾羅木は、自治連合会もご存知かと思いますが15の単位自治会からなっております、これは綾羅木全体での取り組みとして、7月は海岸清掃、8月は夏祭りとは花火大会、先だっては敬老会などいろいろな事業があります。これからはふるさとウォークやスポーツ大会などが予定されていますが、私が一番心配しているのは、先ほど自治連合会長が言われたように、非常に自治会長の高齢化が進んでおまして、高齢化が進んでいるだけではなくて、色々な病を持つ方や治療に通われる方もいらっしゃいます。

自治会で一番困っているのは、次の方へ役のバトンタッチをお願いしてもなかなか引き受けてもらえないということで、これが現状です。先ほどのコスモス祭りにしても、本当は川中地区全体で協力しなくてはいけないのだけれども、現状としてそういったものが影響しています。

ただ、私が今回一番嬉しかったのは、夏祭りの件ですけど自治連合会長からPTAの人達の協力を得てやってみようという提案があり、これが大成功を収めた。若い人達をどんどん自治会活動に引っ張り込んだことで、夏祭りは大成功だったんですよ。これもPTAの皆さん方のお陰だと思います。やはり、そういった将来性を考えて自治会長そのものが真剣に考えていくべきだと思います。まだお話ししたいけれども今日はここまで。

【市民】

綾羅木地区連合婦人会から参加しています。綾羅木地区も高齢化が進んでおましますが、婦人会の会長になって感じる事として、婦人会に入りませんか誘ってあげること、仲間作りやそのまちづくりに誘ってあげると、とても喜ばれる方がいらっしゃいますし、このような活動があることを今まで知らなかったと言われる方も本当に多いです。

ですから、連合自治会でも、各自治会の中には本当に協力していただける人が、一人か二人は絶対いらっしゃると思いますので、そういう方を引っ張り出して、定年退職された

方などにも声をかけるなど、働きかけをしなければ、やっぱり自分から進んでやりましょうという方は、なかなかいらっしやらないと思いますし、その声かけが必要ではないかと思ひます。

定年になったら「今日行く」と「今日用」。今日、用事がある、今日、行く所がある。そういう「今日行く」と「今日用」を、是非進めていくように皆で声をかけ、いつまでも高齢といわれても元氣な高齢者でありたい、精神的にも。ですから、お声かけをPTAの方にも、今年に本当に協力して頂きましたし、それをやはり続けていけるように常に働きかけをしていかなければいけないと思ひます。

【市民】

若い人達に参加してもらう方法について、どうしたらいいのか私も考えていまして、若い方達も参加すれば何らかの意見を言うと思ひますが、普段そういう意見を発言する場が無いというのが大きな事で、自治会でもそんな話し合いは無いように思ひます。

そのため、これは市の方で例えば、ソーシャルネットワークを使ったネット上のサークルを構築できないものかと。

フェイスブックでは広すぎるし、全世界とも繋がっているため、そういうのは入りたくないと言われる方も結構いる訳ですよ。

例えば、PTAの中で閉鎖的なネットワークがあれば、それはそれで意見が出てくるんじゃないかなと思ひたこともあります。今、学校なんかでも学校から保護者への連絡はネットを通じて送られてくるのですが、保護者側から学校へという逆の仕組みが無いんですよ。保護者から学校へは電話を使うのですが、その保護者の声が他の人達には分からない。こんな意見を持ってますよというのが、他の会員にも分かるようなシステムがあれば、とっても良いんじゃないかなと思ひたりもするんですが。

そういった仕組みにフェイスブックなどがありますが、なかなか普及しないので市で作って、学校側に渡せば良いのではないかと思ひます。また、そのシステムを使って、自治会で意見を言いたい人がいれば、ちょっと発言することで、他の会員も読めるようなのが良いかと思ひます。

昔、「下関を熱く語ろう！」というサイトがあったのをご存知ですか。一部の議員さんが頑張ってくれたからだと思ひますが、匿名だとやっぱり無責任になるので、実名で熱く語るっていうサイトというのがあれば結構良いのではと思ひます。

【司会】

大変良い意見ですね。今、私も気がつきましたけど、市のこういったホームページに皆さんからの意見を頂くようなところを作っただけであれば、我々高齢者はコンピューターやインターネットということはございせんが、若い人達はそれを上手に使っておられますし、また、若い人ほどこれからの時間が長いわけですから、インターネットを使ってそういったところに自分の意見を書き込めるようにすれば、色々な意見が出てくるのではないかと思ひますので、現在、市にそういったものがあるかは分かりませんが、普通の人が使えるように、或いは市に周知できるような仕組みを作られたらいかがでしょうか。

【司会】

本日のまとめとしては、市側の意見としてのこのような会合、顔を見ての会合も良いとは思いますが、今の若い方々はパソコンでインターネットを使って、自分の意見を堂々と述べている人が多くいらっしゃいます。その辺りを市も配慮するような形で、色々作っていってもらい、又はその辺のことを考えてもらうということで、本日はとりあえずの結論にしたいと思いますが、皆さんよろしいですか。

【市】

こちらにマイクを返していただきます。本日は会長さんありがとうございました。まだまだ住民自治のまちづくりへの機運を高めるための第一歩ですので、今日、ここでの練習という訳でもございませんが、来年度も引き続き開催して参りたいと思っています。

こういった形式で次年度もやるかどうかはまだ分かりませんが、今回のようなことを考えておりますので引き続きご協力お願いいたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

【市】

本日は、敢えて皆さん方が進められる集会の途中でコメントすることは控えさせて頂いておりまして、最後に少しコメントさせていただきます。

最後に発言された方のように、これまでなかなか集まってゆったりと、こういう風な事について話す場は無かったかと思いますが、それぞれの団体は運営のため、目的のために頑張っておられるので、コスモス祭り運営のために一所懸命で、そのための会議をしている。

自治会であれば、次の行事日程に併せてこの課題やあの課題をしなきゃいけないという風に、割と目標とする目的に追われてしまいます。

今回、やっぱり自治会が基本という話や、最後は市で何とかしてくれという話もありました。

それから外灯の件も、市で何とかしてくれると嬉しいということで、もしかしたら市が対応するかもしれませんが、もしかしたら今年ではなく来年、再来年かもしれないですね。それは地域にとって不安定な状態であり、もしかしたらこれから出てくる良くない環境が続くということですね。

たまたま自分の役割じゃないからということで負担を他に回してしまうと、結局、いつまで経っても解決しない。やって貰えば良いかもしれないけれど、それまでは不安感が消えないというものもあります。

それでは、それまでの間に地域で何が出来るのかということで、まちづくり会議という場で話し合い、課題によっては地域で、日頃のメンバーだけでは解決できなかったものを一所懸命解決していこうじゃないかということです。

NHKで、近所の底力といった番組が昔流行りましたよね。だから自治会が大事だ、だから自治会長あなたの責任だと言うと、余りにもそこだけに関わってしまうから、だから自分の組織とか自分のグループで、全部解決しようと言っても解決法が無いときには、先ほどのように、PTAの方なども気軽に声をかけてくれれば、応援できるといったこともあります。

これまで活動してきたグループだけではやっぱり解決できないこともあるので、是非、来年、再来年の中でこの地区に新しい組織を作りたい、そういうものを立ち上げて頂いて、ただ会議を何となく開催するのであれば、結局、今までと同じものを作るだけになってしまいますので、その会議では日頃、置き去りになっていたよう事に対し方針を決めて、出来ることは解決するし、出来ないことも地域課題として一つでも整理していく。そういった課題を地域で一緒に解決していくといった思いを持って頂けたらと思います。

結果として行政にお願いしないといけないという地域での結論になるかもしれませんが、外灯設置も色々な方法があって、市が作る外灯もあれば自治会が作る外灯もある訳です。

外灯設置には、ここの自治会の責任では無いかもしれないけれど、そう言っていたらいつまでも暗いままでですので、やっぱりある時期、段階的にこうしようといった結論を踏まえて、何か行動しなければいけない事も多いのではないかと考えています。

今後も行政は地域に出て協力や相談もしていきますし、課題の解決にも応援させていただきますが、場合によっては、普段、会社勤めされている方の中には、とても見識のある方もいらっしゃると思いますので、その人に地域のコーディネーター役だけでも頼んで、こういう大きな場で話し合いをしてみるといったこと。

そういう人が、いつも全ての会議でその役を担う必要もないと思いますし、ずっと会議に出る必要もないですが、そういう仕組みを持つ時代になってきていると思います。

行政も地域に頼られて、結局解決できずに地元に戻すような事をしていたのでは、お互いの間を課題が行ったり来たりするばかりで、解決しないと思うんですよ。

そんな意味からも、このような会議を地域で持つべきじゃないかなと思っています。その中に本来あるスタイルであるとか、この地域のネットワークが力強い方向に出来てくると、良い市が出来てくるのではないかと考えています。

今日の会議の中で、健康の話が出ましたが、この地域はお元気な方も多いので、もっと新しいメンバーが増えても良いという話もありましたけど、やっぱり地域の支えというのは、そういった健康意識を高めるために自分たちで頑張っているが、なかなか皆まで行き届かないということであれば、地域の心の安心といった健全な心を育てるのに、暖かさも減ってしまうこともあると思います。

私たちが、どういった形でお手伝いできるか分かりませんが、是非、地域で解決することに対して、一つでも二つでも踏み込むものにしていきたいと考えておりますので、誰を中心にとということまでは言える立場にはありませんが、是非こういう場を、私達としても、各地域で一つでも地域の何らかの改善ができるものを、一緒に進めていきたいと思っています。

今日が本番という訳ではないですが、自治会の話や外灯の話は、次の機会までに何かできることもあろうかと思うので、また是非、こうした時間を持っていきたいと思っています。今日はお時間を頂きましてありがとうございました。